

番号	0640141			論文報告	妖怪 幽霊 怪異 <u>その他</u>
共通名	ヨミ		呼称	ヨミ <b>アオイヒ, シチニンツカ, ヤマブシ</b> <b>青い火, 七人塚, 山伏</b>	
出典	書名・誌名 (3巻7号/通巻号)	執筆者	発行年月日 (西暦)		
	郷土研究	南方熊楠	74年9月1日 (1915年)		
	論文名 (22)頁~( )頁	話者 (引用文献)	発行所		
	紀州の七人塚		郷土研中社		
	掲載箇所 (22)頁~( )頁				
地域名 (旧)	都・道 <del>和歌山</del> <b>田辺</b> <del>西牟婁</del> <del>長野</del> 区・町 府・県 <del>和歌山</del> <del>西牟婁</del> <del>長野</del> ( ) ( <b>西牟婁郡</b> ) ( <b>長野村</b> )				
	都道府県コード		市町村コード		
特徴	時代	出現季節・時刻			
	出現場所・方位	正体	音		
	色	大きさ	体験談・伝聞・昔話・伝説・神話・謎その他 ( )		
<p>#七人塚#という所がある。昔、7人の山伏が住んでいた。ある日、沖を通る船を山伏たちが秘術で止めた。けれども、船中にも秘術を使う者がおり、沖から山伏を見つけ、秘術をもって7人の動きを止めたためたので、遂に死んでしまった。今も沖からその所を眺めると、怪しい青い火が夜光するという。</p>					
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">○紀州の七人塚 紀州西牟婁郡長野村大字</p> <p>馬我野字鎌倉に七人塚と云ふ所がある。塚は今は無。昔七人の山伏がこゝに住んで居た。ある日田邊沖を通る船に向つて秘術を以て之を止める。船の中にもえらい者があつて沖より山伏どもを見付け、秘術を行ふて止めたから七人の山伏皆動くこと能はず、遂に其處で死んだと云ふ。今も尚沖を通る船から此地を望むと、一點の青い火が怪しく夜光ると云ふ。以上本年七月十一日の牟婁</p> <p>新報より抄出す。又森彦太郎氏通信に、日高郡上山路村大字西にも七人塚あり。鶴が城落ちた時戦死の七士を葬ると稱して塚の上に小祠がある。尚紀伊續風土記牟婁郡三里郷伏拜村(今の東牟婁郡三里村大字伏拜)の條にも七人塚を記し、堀内左馬助鬼ヶ城を攻めた時、三十七人手を負ひて死す。其七人を葬つた所で碑石一基ありと見えて居るところである。(南方熊楠)</p> </div>					